

---

## グローバルリーダーシップ通信 第177号

---

NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション(GLEA)のメールマガジン第177号をお届けします。ご意見・ご感想は<glea@npo-glea.org>まで。

### ◆今号の内容

1. トピックス
2. これからの活動情報
3. コラム『自分の人生をリードするということ』株式会社ロスゼロ 代表取締役 文美月 氏

---

### 1. トピックス

---

#### ◆「Visionary World Cup 2024」

参加者向け説明会(8月8日)、審査員事前打合せ(8月22日)を開催しました。

---

### 2. これからの活動情報

---

#### ◆Visionary World Cup 2024

内容: 大学生、大学院生に交渉のスキルと考え方を学ぶ機会を提供

一泊二日の合宿形式

日時: 9月8日(日)~9日(月)

場所: 望楼 青海波(淡路島)

共催: 株式会社パソナグループ(法人会員)

#### ◆INC オンライン・プレ・ミーティング

(参加者向け事前説明会)

日時: 9月16日(月)

場所: オンライン

#### ◆第23回大学対抗交渉コンペティション

日時: 11月16日(土)・17日(日)

場所: 上智大学及びオンライン

---

### 3. 今月のリーダーシップ情報【コラム／column】

---

株式会社ロスゼロ代表取締役  
NPO同志社大学産官学連携支援ネットワーク理事  
近畿経済産業局女性起業家応援プロジェクトメンター  
豊中市経営改革委員  
大阪大学大学院国際公共政策研究科招へい教員

文 美月 氏

#### 『自分の人生をリードすること』

私は二度の起業経験があり、経営者歴は23年になります。ひよっこ起業家が頭をあちこちぶつけ、失敗を繰り返しながら、多くの人に助けられたおかげで現在まで生き延びて事業を続けています。リーダーシップとは、直訳すると周りを導く(=Leadする)力となりますが、明確なルールブックが存在しないスタートアップの世界において、起業家はまず「Lead myself」であるべきです。成功している起業家を数多くみてきて実感するのは、自分の中に確たる芯、つまりぶれない体内羅針盤を持っている、ということです。

「何があっても、実現したい世界がある。そのために自分がリスクを負い、新たな課題に挑む。ない道を自分で作っていく」。そんな人生を選ぶ自分に最終的な責任を取ることを恐れない姿勢が必要です。船の竜骨のように、多くのさまざまな圧力に耐えて進路から外れず進む経営者の姿を見て、自然と周りが影響を受け始めます。すると共感しあう仲間が一人、二人と増えていくでしょう。そうなれば経営者は、気負ってぐいぐいひっぱる必要がなくなります。周りを導くところだけにフォーカスしていないのです。そして、自分で判断して職務を遂行できるスタッフが育てば、自律的したチームとしてさらに強くなっていきます。

私は新卒で入社した大手企業を離れ、結婚出産後に起業したのですが、その決断をした日から「自分の足で、自分の人生をリードする」ことになりました。この人生の選択を後悔したことは一度もありません。

日本政府が掲げるスタートアップ育成5か年計画により、今、日本では多くの起業家が生まれています。私がこれからの起業家に伝えられることは、世界と垣根がなく厳しい(それだけチャンスも多い)環境で戦っていくためにも、自分の決断に自信を持ち、ぶれない体内羅針盤を育ててほしいということです。

---

本メールマガジンについて

---

コラムなどの著作物の著作権は執筆された方に帰属します。  
執筆者は、当法人に対してその著作物を利用する権利を許諾するものとします。